

I 展示活動

1 企画展

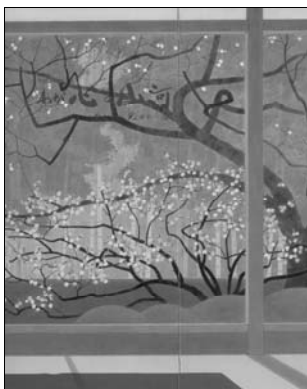
寺田コレクション わが心の山河 —あなたに見せたい風景—

- 会期 平成25年4月13日(土)～6月9日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団
後援：NHK水戸放送局，北茨城市
- ポスター B2, B3
- チラシ A4
- 図録 A4変形版 縦28cm×横22.5cm 104頁
- 開催日数 51日間
- 入場者数 15,850人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画58点
- 内容解説

季節の巡りや朝から夕への時の移ろいなど、様々な表情を見せる風景は画家の琴線を刺激し、新たな表現を生み出してきた。また、「山紫水明」や「花鳥風月」といった言葉で表される季節感に溢れた優雅で静謐な自然への日本人の感性は、現代の日本画家の描く作品にも底流している。東京オペラシティ アートギャラリーの日本画コレクションは、その形成に大きく貢献した美術コレクター寺田小太郎氏が、自らの眼で収集した作品からなっている。それらの作品は決して一個人の感動に限らず、誰もが共感できる風景美が表現されたものといえよう。この展覧会は、画家の心をとらえ、同時にわれわれの心もとらえて離さない風景美を、58点の作品により紹介した。

- 担当 中田智則(主任学芸員)
- 関連事業
学芸員によるギャラリートーク
日時 4月20日(土)・5月19日(日)・6月1日(土)
各日共 午後1時30分～2時30分
会場 展示室A・B・C
担当 中田智則(主任学芸員)

- 関連記事
・本県初公開含む58件作品展示 寺田コレクションを紹介
13日から県天心記念五浦美術館で企画展
4月10日【常陽新聞】
・風景美捉えた作品群 現代日本画紹介 寺田コレクション展(三次豪)
4月22日【茨城新聞】
・「寺田コレクション」現代日本画58点 北茨城・五浦美術館で企画展(白井真)
4月25日【毎日新聞】
・寺田小太郎氏収集の日本画58点 五浦美術館
5月3日【朝日新聞】
・五浦美術館で風景画企画展
5月25日【読売新聞】



図録



ポスター B2



ポスター B3



チラシ A4


出品作品一覧

No	作家名	作品名	制作年	西暦	初出展	材質・技法	形状	寸法 (cm)	所蔵先
1	稗田一穂	潮音那智	昭和60	1985	第17回潮音会展	紙本・彩色	額	100.0 × 72.5	寺田小太郎氏蔵
2	稗田一穂	濤音那智	昭和61	1986	第18回潮音会展	紙本・彩色	額	90.9 × 65.2	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
3	稗田一穂	望瀑熊野灘	平成11	1999	須田 寿・稗田一穂二人展 (日本橋高島屋)	紙本・彩色	額	90.0 × 60.6	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
4	稗田一穂	春満つ谿	平成16	2004	個展(吉井画廊パリ, 2006 年)	紙本・彩色	六曲一 隻屏風	172.6 × 365.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
5	稗田一穂	顕現 II	平成17	2005	個展(吉井画廊パリ, 2006 年)	紙本・彩色	額	89.7 × 90.3	寺田小太郎氏蔵
6	稗田一穂	春の音	平成21	2009	個展－風花春秋 (日本橋高島屋)	紙本・彩色	六曲一 隻屏風	183.5 × 363.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
7	相嶋崇人	晨	平成19	2007	第62回春の院展	紙本・彩色	額	99.0 × 99.0	寺田小太郎氏蔵
8	中路融人	伊吹山	平成2	1990	第3回異歩騎会展	紙本・彩色	四曲一 双屏風	各 182.5 × 363.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
9	伊藤 彬	月下	昭和62	1987	個展－人心月花 (日本橋高島屋)	紙本・彩色	額 (3面)	各 180.0 × 90.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
10	白井 進	雪降る	平成22	2010	第65回春の院展	紙本・彩色	額	100.0 × 100.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
11	平松礼二	路－追憶(I)	昭和63	1988	個展(東京セントラルアネ ックス)	紙本・彩色	六曲一 隻屏風	170.0 × 364.2	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
12	平松礼二	路－追憶(II)	昭和63	1988	個展(東京セントラルアネ ックス)	紙本・彩色	六曲一 隻屏風	170.0 × 364.2	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
13	平松礼二	路－うさぎ追 いし	昭和63	1988	個展(東京セントラルアネ ックス)	紙本・彩色	六曲一 双屏風	各 151.0 × 273.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
14	八田 哲	暮色	平成4	1992	個展「ヨーロッパ聖堂」を テーマに(三条祇園画廊)	紙本・彩色	額	156.0 × 194.0	寺田小太郎氏蔵
15	八田 哲	天空	平成4	1992	個展「ヨーロッパ聖堂」を テーマに(三条祇園画廊)	紙本・彩色	額	207.0 × 139.5	寺田小太郎氏蔵
16	八田 哲	白い夏	平成4	1992	個展「ヨーロッパ聖堂」を テーマに(三条祇園画廊)	紙本・彩色	額	81.5 × 110.5	寺田小太郎氏蔵
17	廣瀬慶子	朝もやのベルン	平成15	2003	第58回春の院展	紙本・彩色	額	99.5 × 99.5	寺田小太郎氏蔵
18	石井慶子	風韻	平成21	2009	第64回春の院展	紙本・彩色	額	98.0 × 98.0	寺田小太郎氏蔵
19	倉島重友	桜花の道	平成24	2012	第67回春の院展	紙本・彩色	額	90.9 × 72.7	寺田小太郎氏蔵
20	箱崎睦昌	瀑布遠望	昭和61	1986	第3回横の会展	紙本・彩色	額	259.0 × 180.5	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
21	村田茂樹	冬林	平成2	1990	第7回横の会展	紙本・彩色	四曲一 隻屏風	181.8 × 290.0	寺田小太郎氏蔵
22	角島直樹	朝陽	平成18	2006	長湫会 2007	紙本・彩色	額	90.5 × 116.0	寺田小太郎氏蔵
23	角島直樹	散居村	平成21	2009	長湫会 2010	紙本・彩色	額	79.5 × 116.0	寺田小太郎氏蔵

No	作家名	作品名	制作年	西暦	初出展	材質・技法	形状	寸法(cm)	所蔵先
24	大野俊明	風の渡る道	平成5	1993	第10回横の会展 (出品時題名「湖国」)	紙本・彩色	四曲一 隻屏風	160.0 × 390.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
25	大野俊明	風の調べー洛 北大原 宝泉院	平成7	1995	個展ー流れ行く時の風 (ニューヨーク高島屋)	紙本・彩色	四曲一 隻屏風	168.5 × 370.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
26	大野俊明	洛北ー春	平成14	2002	個展 京・近江 ー流れ行 く風	紙本・彩色	四曲一 隻屏風	168.0 × 370.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
27	大野俊明	春に咲く 上賀 茂	平成16	2004	両洋の眼 2005	紙本・彩色	額	90.0 × 115.5	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
28	有元容子	由布岳	平成11	1999	両洋の眼 2000	紙本・彩色	額	144.5 × 88.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
29	有元容子	黒戸山	平成12	2000	両洋の眼 2001	紙本・彩色	額	162.1 × 112.1	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
30	秦 誠	棚田	平成14	2002	長湫会 2003	紙本・彩色	額	116.0 × 79.0	寺田小太郎氏蔵
31	重岡良子	葡萄園	平成9	1997	個展ー華・はな・花ー (横浜高島屋)	紙本・彩色	二曲一 隻屏風	160.0 × 182.5	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
32	重岡良子	笹百合野	平成9	1997	個展ー華・はな・花ー (横浜高島屋)	紙本・彩色	二曲一 隻屏風	160.0 × 182.5	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
33	重岡良子	白露野	平成13	2001	個展ーいろ・色・彩ー (なんば高島屋)	紙本・彩色	二曲一 双屏風	各 168.0 × 184.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
34	重岡良子	春萌野	平成13	2001	個展ーいろ・色・彩ー (なんば高島屋)	紙本・彩色	四曲一 隻屏風	168.0 × 368.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
35	西田俊英	煙雨山河	昭和63	1988		紙本・彩色	四曲一 隻屏風	165.0 × 336.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
36	西田俊英	リュクサンブー ル公園	平成13	2001	個展ー祈りー (日本橋三越, 2002年)	紙本・彩色	額	94.0 × 170.0	茨城県近代美術館蔵 (寺田小太郎氏寄贈)
37	小林希光	陽	平成22	2010	第65回春の院展	紙本・彩色	額	142.0 × 67.5	寺田小太郎氏蔵
38	並木 功	北軽井沢	平成9	1997	個展(名古屋松坂屋)	紙本・彩色	二曲一 隻屏風	145.0 × 178.8	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
39	並木 功	北信濃	平成11	1999	第5回美の予感展 (日本橋高島屋)	紙本・彩色	額	173.0 × 352.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
40	並木 功	月下浅間	平成18	2006	個展ー逍遙・信濃よりー (高島屋)	紙本・墨画 彩色	八曲一 隻屏風	169.5 × 596.6	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
41	松本祐子	春を送る	平成4	1992	第18回京都春季創画展	紙本・彩色	額	170.0 × 184.0	寺田小太郎氏蔵
42	松本祐子	春の波	平成6	1994	第4回京都新聞日本画賞 展	紙本・彩色	額	158.0 × 238.0	寺田小太郎氏蔵
43	松本祐子	雪梅	平成11	1999	第5回美の予感展	紙本・彩色	二曲一 隻屏風	129.0 × 193.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
44	松本祐子	春の流れ	平成11	1999	第5回美の予感展	紙本・彩色	四曲一 隻屏風	139.5 × 342.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
45	松本祐子	夏の光Ⅱ	平成11	1999	第26回創画展	紙本・彩色	額	176.0 × 226.0	寺田小太郎氏蔵
46	大竹 卓	暮雪	平成12	2000	第2回橋の会(日本橋高島 屋)	紙本・墨画 彩色	四曲一 隻屏風	130.0 × 259.4	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
47	大竹 卓	山霧	平成15	2003	第5回橋の会(日本橋高島 屋)	紙本・墨画	二曲一 隻屏風	131.8 × 130.8	東京オペラシティ アートギャラリー蔵

No	作家名	作品名	制作年	西暦	初出展	材質・技法	形状	寸法(cm)	所蔵先
48	大竹 卓	白馬行雲	平成16	2004	個展(日本橋高島屋)	紙本・墨画	四曲一 隻屏風	133.8 × 254.6	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
49	川崎麻児	出るための入口	平成5	1993	両洋の眼 1993	紙本・彩色	額	109.0 × 144.5	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
50	速水敬一郎	対岸の冬	平成20	2008	第63回春の院展	紙本・彩色	額	98.0 × 98.0	寺田小太郎氏蔵
51	浅野 忠	知床	平成21	2009	長湫会 2010	紙本・彩色	額	115.0 × 79.0	寺田小太郎氏蔵
52	吉村佳洋	映	平成18	2006	長湫会 2006	紙本・彩色	額	90.0 × 115.5	寺田小太郎氏蔵
53	古田年寿	揺天	平成17	2005	第60回春の院展	紙本・彩色	額	146.0 × 71.0	寺田小太郎氏蔵
54	岩永てるみ	パリの休日	平成20	2008	第63回春の院展	紙本・彩色	額	98.7 × 98.7	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
55	岩永てるみ	帰郷 ーリヨン駅ー	平成22	2010	第65回春の院展	紙本・彩色	額	144.0 × 69.0	東京オペラシティ アートギャラリー蔵
56	谷 善徳	名残	平成19	2007	第62回春の院展	紙本・彩色	額	103.0 × 98.0c	寺田小太郎氏蔵
57	中神敬子	春香	平成21	2009	長湫会 2010	紙本・彩色	額	116.7 × 80.3	寺田小太郎氏蔵
58	牧野 環	綾	平成18	2006	第61回春の院展	紙本・彩色	額	147.5 × 72.5	寺田小太郎氏蔵

＜震災復興祈念＞天心・波山記念事業
岡倉天心生誕 150 年・没後 100 年記念
岡倉天心と文化財
—まもり、つたえる、日本の美術—

- 会期 平成25年10月12日(土)～11月24日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
天心波山記念事業実行委員会
協力：公益財団法人 美術院
後援：茨城新聞社、朝日新聞水戸総局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、産経新聞水戸支局、東京新聞水戸支局、NHK水戸放送局、北茨城市
- ポスター B2, B3
- チラシ A4, A3二つ折り
- 図録 A4変形版 縦28cm×横22.5cm 152頁
- 開催日数 38日間
- 入場者数 24,157人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金
※11月13日(火)は県民の日のため無料

●出品点数 75件93点(国宝2件、重要文化財12件を含む)

●内容解説

岡倉天心は、明治時代に美術行政家、美術運動家として近代日本美術の発展に尽力した人物として知られている。その大きな成果として東京美術学校(現東京藝術大学)の設立や日本美術院の創設などが挙げられるが、これらの活動と平行して進められた古美術品の調査や保護活動についても、その重要な業績として看過することはできない。

明治初期、政府のとった神仏分離政策によって文化財としての価値を持つ寺院や仏像が失われたり傷つけられたりし、急激な西洋化が進む世相を背景に古美術品を軽視する風潮が広がっていた。こうした中、日本各地の古社寺や宝物の調査に参加し、また欧米諸国の美術視察を通して見聞を広めた天心は、東京美術学校長と帝国博物館美術部長を兼務して大規模な模写・模造事業を立案し、横山大観ら東京美術学校出身の若手作家に模写・模造を通じて伝統美術を学ばせると共に、それらを博物館に展示して日本の伝統美術の価値を広く啓蒙しようとした。

明治31年、在野の美術団体日本美術院を創設した天心は、設立と同時にその事業の一つとして古社寺保存法により国宝に指定された彫刻作品の修理を実施している。この国宝彫刻修理事業は天心の意を受けた新納忠之介が中心となり、日本美術院第二部(明治39年同院の組織改革により改称)を経て、現在も公益財団法人美術院へと発展的に受け継がれている。

本展覧会では、天心の文化財保護活動に係る資料や天心

主導で修復された文化財などによって天心の業績を紹介すると共に、天心没後、公益財団法人美術院がこれまで行ってきた仏像修理の歴史を膨大な修理記録の中から選んだ資料やパネルなども交えて分かりやすく展示することで、天心の理念が今もなお息づく文化財保護の現況までを紹介した。

●担当 稲葉睦子(主任学芸員)

●関連事業

ガイドツアー「五浦史跡めぐり」

日時 10月12日(土)～11月24日(日)の土・日・祝日
各日とも午後1時30分～

記念シンポジウム「岡倉天心と文化財」

日時 10月13日(日)午後1時～
パネリスト 西川杏太郎(公益財団法人美術院理事長)
金子啓明(興福寺国宝館館長)
根立研介(京都大学大学院教授)

バスツアー「秘仏・雨引観音特別拝観と

五浦美術館で国宝・重文を鑑賞する旅

日時 11月16日(土)
仏像解説講師 後藤道雄(茨城県文化財保護審議会委員)
雨引観音案内・講話 川田興聖(雨引山楽法寺住職)

大観月会 2013

天心邸茶会

日時 10月26日(土)午前11時～午後2時
五浦観光ホテル
10月27日(日)午前10時30分～11時30分、
午後1時～2時
茨城大学五浦美術文化研究所(天心邸)

亭主 村田宗恭(表千家)

座談会「アーティストが語る岡倉天心」

日時 10月26日(土)午後2時～3時30分

会場 五浦観光ホテル

出演 岡倉禎志(写真家・天心玄孫)

籾内佐斗司(彫刻家)

松村克弥(映画監督)

司会 小泉晋弥(茨城大学教授)

邦楽コンサート

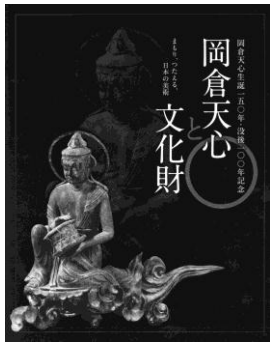
日時 10月27日(日)
第1部 正午～12時30分
茨城大学五浦美術文化研究所(天心邸)
第2部 午後2時～3時 当館エントランスロビー
出演 長須与佳(尺八・琵琶)

「写仏」はじめました

日時 11月9日(土)～11月24日(日)の土・日
各日とも午前10時～12時、午後1時～3時

学芸員によるギャラリートーク

日時 11月2日(土)、11月17日(日)
各日とも午後1時30分～午後2時30分
担当 稲葉睦子(主任学芸員)・中田智則(主任学芸員)



図録



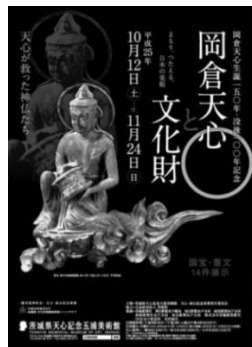
ポスター B2



ポスター B3



事前広報チラシA4



チラシA3 (二つ折り)・表紙



同・中面

●関連記事

・県政キャンペーン 岡倉天心没後100年 文化財保護の業績紹介 来月12日から県五浦美術館 修復仏像を展示

9月17日【茨城新聞】

・天心の文化財保護紹介 五浦美術館 修復した国宝など展示

10月12日【読売新聞】

・県五浦美術館 文化財保護活動を紹介 天心生誕150年企画展開幕 仏像や神像95点(沢畑浩二)

10月13日【茨城新聞】

・天心の活動 理解深める 生誕150年没後100年 文化財保護で記念講演 県五浦美術館(三次豪)

10月14日【茨城新聞】

・天心が救った「神仏」たち① 菩薩立像 小像ながらもふっくらと穏やか—平安後期の面影(稲葉睦子)

10月29日【朝日新聞】

・天心が救った「神仏」たち② 国常立命坐像 天心主導による国宝修理の第1号(稲葉睦子)

10月30日【朝日新聞】

・天心が救った「神仏」たち③ 大日如来坐像 1898年から国宝修理事業—最初期の詳細は不明(稲葉睦子)

10月31日【朝日新聞】

・天心の文化財保護に光 ゆかりの仏像, 神像95点(沢畑浩二)

10月31日【茨城新聞】

・岡倉天心 生誕150年・没後100年記念シンポジウム 天心の精神 脈々と *各パネリストの発表要旨を掲載

11月1日【茨城新聞】

・天心が救った「神仏」たち④ 新納忠之介 「芸術の上では君を殺す」師の覚悟に動かされ(稲葉睦子)

11月1日【朝日新聞】

・天心が救った「神仏」たち⑤ 雲中供養菩薩像 解体し、扉絵や壁画もとに各部材を正位置へ—優美な姿に(稲葉睦子)

11月2日【朝日新聞】

・岡倉天心と文化財① 薬師如来坐像(常陸太田市) 平安後期, 荘厳な光背(中田智則)

11月3日【茨城新聞】

・岡倉天心と文化財② 薬師如来及両脇侍像(城里町) 古い光背修理し交換(中田智則)

11月5日【茨城新聞】

・岡倉天心と文化財③ 千手観音菩薩立像(笠間市) 変化富む写実的表現(中田智則)

11月6日【茨城新聞】

・岡倉天心と文化財④ 聖徳太子立像(水戸市) 度重なる災禍逃れる(中田智則)

11月8日【茨城新聞】

・岡倉天心と文化財⑤ 十二神将像(水戸市) 修理で力強い姿復活(中田智則)

11月9日【茨城新聞】

●関連放送

・スクーパーレポート

10月29日【茨城放送】

・日曜美術館アートシーン

11月10日【NHK Eテレ】

● 出品作品・資料一覧

第1部 天心による古美術の価値の発見

【1. 明治初期の古美術調査】

No.	指定	作者名	作品・資料名	制作年代	員数	所蔵先	展示期間
1	重要文化財	横山松三郎	壬申検査関係写真 法隆寺夢殿	明治5年 (1872)	1枚	東京国立博物館	10/12～ 11/4
2	重要文化財	横山松三郎	壬申検査関係写真 東大寺大仏	明治5年 (1872)	1枚	東京国立博物館	11/6～ 11/24

【2. 天心の古美術調査の足跡と保護活動】

3			文部省辞令 文部少輔九鬼隆一 学事巡視ニ付随行申付候事	明治15年 (1882)	1枚	国立大学法人 茨城大学	
4			文部省辞令 京阪地方出張申付 候事	明治17年 (1884)	1枚	国立大学法人 茨城大学	
5		岡倉天心	奈良古社寺調査手録	明治19年 (1886)	1冊	公益財団法人 日本美術院	10/12～ 10/27
6-1		狩野芳崖	奈良官遊地取 四巻	明治19年 (1886)	1巻(12 巻の内)	東京藝術大学	
6-2		狩野芳崖	奈良官遊地取 八巻	明治19年 (1886)	1巻(12 巻の内)	東京藝術大学	
7-1		岡倉天心	美術品保存ニ付意見及び美術品 目録 美術品保存ニ付意見	明治19年 (1886)頃	1冊	國學院大学図書 館[梧陰文庫]	
7-2		岡倉天心	美術品保存ニ付意見及び美術品 目録 美術品目録(奈良)	明治19年 (1886)頃	1冊	國學院大学図書 館[梧陰文庫]	
7-3		岡倉天心	美術品保存ニ付意見及び美術品 目録 美術品目録(高野山)	明治19年 (1886)頃	1冊	國學院大学図書 館[梧陰文庫]	
7-4		岡倉天心	美術品保存ニ付意見及び美術品 目録 美術品目録(京都)	明治19年 (1886)頃	1冊	國學院大学図書 館[梧陰文庫]	
8		岡倉天心	欧州視察日誌	明治20年 (1887)	1冊	公益財団法人 日本美術院	10/12～ 10/27
9			臨時全国宝物取調局 全国宝物 取調書	明治30年 (1897)	1冊	茨城県天心記念 五浦美術館	
10		岡倉天心	美術部列品編入方針案草稿	明治22年 (1889)	1巻	東京国立博物館	
11			国華 創刊号	明治22年 (1889)	1冊	国立大学法人 茨城大学	
12			国華第3号より 平等院内陣(小川 一真撮影)	大正8年 (1919) 合本複製版	1冊	茨城県天心記念 五浦美術館	
13		岡倉天心	国立美術博物館に関する建議書 下書き断片	明治22年 (1889)頃	1枚	公益財団法人 日本美術院	
14		岡倉天心	日本美術史編纂綱要草稿	明治24年 (1891)	2枚	公益財団法人 日本美術院	
15		岡倉天心	支那旅行日誌	明治26年 (1893)	2冊(4冊 の内)	公益財団法人 日本美術院	
16-1		早崎稷吉	中国旅行風景写真 大理石像 11号	明治26年 (1893)	1枚	茨城県天心記念 五浦美術館	

No.	指定	作者名	作品・資料名	制作年代	員数	所蔵先	展示期間
16-2		早崎稷吉	中国旅行風景写真 楽遊原	明治 26 年 (1893)	1 枚	茨城県天心記念 五浦美術館	
16-3		早崎稷吉	中国旅行風景写真 龍門伊闕石仏 24 号	明治 26 年 (1893)	1 枚	茨城県天心記念 五浦美術館	
16-4		早崎稷吉	中国旅行風景写真 洛陽安国寺仏像 23 号	明治 26 年 (1893)	1 枚	茨城県天心記念 五浦美術館	
17		岡倉天心	落款・印章ノート		1 冊	公益財団法人 日本美術院	
18		大村西崖	古社寺保存卑見	明治 29～ 30 年(1896 ～97)頃	1 冊	公益財団法人 日本美術院	
19		岡倉天心	書状	明治 33 年 (1900)	1 巻	東京国立博物館	
20	市指定 文化財		菩薩立像(伝岡倉天心旧蔵)	平安時代 (12 世紀)	1 軀	長松寺	
21			聖観音菩薩立像	平安時代 (12 世紀)	1 軀	個人	
【3. 模写・模造事業の展開—技術の研鑽と啓蒙活動—】							
22		横山大観	山越阿弥陀三尊像(模写)	明治 28 年 (1895)	1 幅	東京国立博物館	
23		横山大観	観音猿鶴図(模写)	明治 28 年 (1895)	3 幅	東京国立博物館	
24		溝口禎次郎	不動明王像(模写)	明治 28 年 (1895)	1 幅	東京国立博物館	
25		菱田春草	荷葉図(模写)	明治 28 年 (1895)	2 幅	東京国立博物館	
26		森川杜園	九面観音立像(模造)	明治 25 年 (1892)	1 軀	東京国立博物館	
27		新納忠之介	一字金輪坐像(模造)	明治 30 年 (1897)	1 軀	東京国立博物館	
28		木村武山, 高橋勇, 佐 藤栄三郎	中尊寺経蔵須弥壇実写図	明治 30 年 (1897)頃	2 面	東京国立博物館	
【4. 古社寺保存法の公布と近代的修理の始まり】							
29	国宝		国常立命坐像	平安時代 (9 世紀)	1 軀	熊野速玉大社	
30	重要文 化財		伊邪那美神坐像	平安時代 (12 世紀)	1 軀	熊野速玉大社	
31			和歌山県古社寺修繕事業出張員	明治 31 年 (1898)頃	1 枚	個人	
32			熊野速玉大社にて	明治 41 年 (1908)	1 枚	個人	
33		岡倉天心	新納忠之介宛書簡(明治 32 年 1 月 26 日付)	明治 32 年 (1899)	1 通	個人	
34		岡倉天心	新納忠之介宛書簡(明治 39 年 9 月 30 日付)	明治 39 年 (1906)	1 通	個人	

No.	指定	作者名	作品・資料名	制作年代	員数	所蔵先	展示期間
35		岡倉天心	新納忠之介宛書簡(明治41年8月5日付)	明治41年(1908)	1通	個人	
36		岡倉天心	新納忠之介宛書簡(大正2年6月4日付)	大正2年(1913)	1通	個人	
37	重要文化財		大日如来坐像	平安時代(12世紀)	1軀	公益財団法人 佐野美術館	
【5. 東大寺法華堂諸仏の修理 (明治34~35年度)】							
38			東大寺法華堂の仏像 修理者名簿(控)	明治34~35年(1901~02)	1枚	奈良国立博物館	
39			東大寺国宝品修繕請負契約書	明治34年(1901)	1冊	奈良国立博物館	
40			東大寺多聞天立像構造図(明治修理)	明治34~35年(1901~02)	1幅	公益財団法人 美術院	
【6. 平等院鳳凰堂雲中供養菩薩像の修理 (明治38~39年度)】							
41	国宝		雲中供養菩薩像 南14号	天喜元年(1053)	1軀	平等院	
42		新納忠之介	新納忠之介調査手帳(No.5)	明治36年(1903)	1冊	公益財団法人 美術院	
43			平等院 雲中供養菩薩像 修理図	明治38年(1905)	1冊	個人	
44			平等院国宝修繕設計書	明治38年(1905)	1冊	奈良国立博物館	
45			平等院鳳凰堂五十三仏修繕工法説明書	明治38年(1905)	1冊	奈良国立博物館	
【7. 法隆寺の救世観音と百済観音の修理 (明治38~39年度)】							
46			法隆寺観音菩薩立像(救世観音・百済観音) 修理図 ・図版46-1 法隆寺観音菩薩立像(救世観音) 修理図 正面 ・図版46-2 法隆寺観音菩薩立像(救世観音) 修理図 背面 ・図版46-3 法隆寺観音菩薩立像(百済観音) 修理図 正面 ・図版46-4 法隆寺観音菩薩立像(百済観音) 修理図 背面 ・図版46-5 法隆寺観音菩薩立像(百済観音) 修理図 左側面 ・図版46-6 法隆寺観音菩薩立像(百済観音) 修理図 右側面	明治38年(1905)	1冊	奈良国立博物館	
47		新納忠之介	新納忠之介調査手帳(No.17)	明治40年(1907)	1冊	公益財団法人 美術院	
第2部 美術院国宝修理所に受け継がれる天心の理念							
【1. 唐招提寺金堂の盧舎那仏坐像, 千手観音像の修理 (大正5~7年度)】							
48			唐招提寺盧舎那仏坐像 修理図 ・図版48-1 唐招提寺盧舎那仏坐像 修理図 正面 ・図版48-2 唐招提寺盧舎那仏坐像 修理図 右側面 ・図版48-3 唐招提寺盧舎那仏坐像 修理図 胎内梓木構造図	大正5~7年(1916~18)	1冊	奈良国立博物館	

No.	指定	作者名	作品・資料名	制作年代	員数	所蔵先	展示期間
49			唐招提寺千手観音立像 修理図	大正 5～7 年(1916～ 18)	1 冊	奈良国立博物館	
			・図版 49-1 唐招提寺千手観音立像 修理図	修理竣成組立全図			
			・図版 49-2 唐招提寺千手観音立像 修理図	上半身左側			
			・図版 49-3 唐招提寺千手観音立像 修理図	足柄			
			・図版 49-3 唐招提寺千手観音立像 修理図	上半身背面			
50			唐招提寺 千手観音立像 修理図 左後列大手及び小手第 8 層	大正 5～7 年(1916～ 18)	1 冊	奈良国立博物館	
【2. 関東大震災で被災した仏像の修理 円応寺の十王像 (大正 13 年度)】							
51			神奈川国宝修繕に関する書類	大正 13 年 (1924)	1 冊	奈良国立博物館	
			・図版 51-1 円応寺初江王坐像 修理図	正面			
			・図版 51-2 円応寺俱生神坐像(1) 修理図	正面			
			・図版 51-3 円応寺俱生神坐像(2) 修理図	正面			
			・図版 51-4 円応寺閻魔王, 初江王, 俱生神坐像 修理竣成報告書				
			・図版 51-5 円応寺臨時修理工房平面図				
【3. 三十三間堂の千手観音像の修理 (昭和 11～31 年度)】							
52			三十三間堂千手観音像 修理図 及び銘記	昭和 13 年 (1938)	1 冊	奈良国立博物館	
			・図版 52-1 三十三間堂千手観音立像第 120 号 修理図	正面			
			・図版 52-2 三十三間堂千手観音立像第 120 号 銘記籠字				
			・図版 52-3 三十三間堂千手観音立像第 120 号 銘記拓本				
53			三十三間堂千手観音像 修理図 及び銘記	昭和 14 年 (1939)	1 冊	奈良国立博物館	
			・図版 53-1 三十三間堂千手観音立像第 169 号 修理図	正面			
			・図版 53-2 三十三間堂千手観音立像第 169 号 銘記拓本				
54			三十三間堂千手観音像 修理墨 書刻銘記	昭和 14 年 (1939)	1 冊	奈良国立博物館	
			・図版 54 三十三間堂千手観音立像第 169 号 銘記籠字				
55			写真 新納忠之介(三十三間堂調 査時)	昭和 6 年 (1931)頃	1 枚	個人	
【4. 東寺金堂の千手観音立像の修理 (昭和 40～42 年度)】							
56			東寺食堂千手観音立像 頭部模 型(当初の顔)	昭和 41 年 (1966)	1 基	公益財団法人 美術院	
57			東寺食堂千手観音立像 頭部模 型(焼損前の顔)	昭和 41 年 (1966)	1 基	公益財団法人 美術院	
58			東寺食堂千手観音立像 頭部模 型(補修箇所の時代的変遷)	昭和 41 年 (1966)	1 基	公益財団法人 美術院	
59			東寺食堂の千手観音立像 構造 模型	昭和 41 年 (1966)	1 基	公益財団法人 美術院	
【5. 東大寺南大門金剛力士像の修理 (昭和 63～平成 4 年度)】							
60			東大寺南大門金剛力士像(吡形) 構造模型	昭和 63～ 平成 4 年 (1988～92)	1 基	公益財団法人 美術院	

No.	指定	作者名	作品・資料名	制作年代	員数	所蔵先	展示期間
61			東大寺南大門金剛力士像(吽形) 手模型	昭和 63～ 平成 4 年 (1988～92)	1 個	公益財団法人 美術院	
62			東大寺南大門金剛力士像(吽形) 足模型	昭和 63～ 平成 4 年 (1988～92)	1 個	公益財団法人 美術院	

第3部 美術院国宝修理所が修理した茨城県の仏像

63	重要文化財		薬師如来坐像	平安～鎌 倉時代(12 世紀末)	1 軀	岩谷寺	
64			千葉県 茨城県 国宝修理書類	大正 15・昭 和元～3 年 (1926～28)	1 冊	奈良国立博物館	
			<ul style="list-style-type: none"> ・図版 64-1 岩谷寺薬師如来坐像 修理図 正面 ・図版 64-2 岩谷寺薬師如来坐像 修理図 光背 ・図版 64-3 岩谷寺薬師如来立像 修理図 正面 ・図版 64-4 岩谷寺薬師如来立像 修理図 背面 ・図版 64-5 岩谷寺薬師如来立像 修理図 銘記拓本 ・図版 64-6 圓福寺国宝修繕竣功報告書 ・図版 64-7 圓福寺阿弥陀如来坐像 修理図 正面 ・図版 64-8 圓福寺阿弥陀如来坐像 修理図 背面 ・図版 64-9 圓福寺阿弥陀如来坐像 銘記籠字 ・図版 64-10 西光寺薬師如来坐像 修理図 正面 ・図版 64-11 西光寺薬師如来坐像 修理図 蓮華座・光背表面 ・図版 64-12 薬師寺薬師如来坐像 修理図 正面 ・図版 64-13 薬師寺月光菩薩立像 修理図 正面 ・図版 64-14 薬師寺日光菩薩立像 修理図 正面 ・図版 64-15 薬師寺設計変更願 ・図版 64-16 楞嚴寺千手観音立像 修理図 正面 ・図版 64-17 楞嚴寺千手観音立像 修理図 背面 ・図版 64-18 楞嚴寺千手観音立像 修理図 脇手 ・図版 64-19 楞嚴寺千手観音立像 修理図 台座連弁・持物 ・図版 64-20 楞嚴寺千手観音立像 銘記拓本 				
65	重要文化財		薬師如来立像	建長 5 年 (1253)	1 軀	岩谷寺	
66	重要文化財		阿弥陀如来坐像	平安末～ 鎌倉時代 (12 世紀末 ～13 世紀 初)	1 軀	圓福寺	
67	重要文化財		薬師如来坐像	平安時代 (12 世紀)	1 軀	西光寺(管理:常 陸太田市)	10/22～ 11/24
68	重要文化財		薬師如来及両脇侍像	鎌倉時代 (13 世紀)	3 軀	薬師寺	
69	重要文化財		千手観音菩薩立像	建長 4 年 (1252)	1 軀	楞嚴寺	

NO.	指定	作者名	作品・資料名	制作年代	員数	所蔵先	展示期間
70	重要文化財		聖徳太子立像	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	善重寺	
71			太子堂再建随喜名簿	明治 29 年 (1896)	3 冊	善重寺	
72		九鬼隆一	十七条憲法 第七条	明治 30 年 (1897)	1 面	善重寺	
73	重要文化財		釈迦如来立像	鎌倉時代 (13世紀後半)	1 軀	福泉寺	
74	県指定文化財		観音菩薩立像	平安時代 (10世紀後半)	1 軀	延命院	
75-1	県指定文化財		十二神将像(子神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-2	県指定文化財		十二神将像(丑神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-3	県指定文化財		十二神将像(寅神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-4	県指定文化財		十二神将像(卯神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-5	県指定文化財		十二神将像(辰神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-6	県指定文化財		十二神将像(巳神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-7	県指定文化財		十二神将像(午神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-8	県指定文化財		十二神将像(未神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-9	県指定文化財		十二神将像(申神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-10	県指定文化財		十二神将像(酉神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-11	県指定文化財		十二神将像(戌神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	
75-12	県指定文化財		十二神将像(亥神)	鎌倉時代 (14世紀)	1 軀	薬王院	

花が咲き、鳥は遊ぶ

一日立市郷土博物館

コレクションを中心に

- 会期 平成26年1月2日(木)～2月23日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：日立市郷土博物館
後援：茨城新聞社、朝日新聞水戸総局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、産経新聞水戸支局、東京新聞水戸支局、NHK水戸放送局、北茨城市
- ポスター B2, B3
- チラシ A4
- リーフレット A4 8頁
- 開催日数 45日間
- 入場者数 10,971人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画69点

●内容解説

四季折々の花や戯れる鳥たちを描いた花鳥画には、移りゆく自然を慈しむ日本人の美意識とともに個々の画家たちの温かなまなざしが注がれている。明治、大正、昭和の時代に東京画壇に名を轟かせた荒木寛畝一門(読画会)は、日本絵画の伝統を尊重しながら、写実を加味した気品のあつた花鳥画世界を築いてきた。

本展は、荒木一門の秀作を多く所蔵する日立市郷土博物館の特別の協力を得て開催するもので、荒木寛畝に師事した茨城県出身の五島耕畝、永田春水をはじめとする荒木一門の貴重なコレクションを一堂に展示し、写実的な花鳥表現と華麗な装飾美による花鳥画の世界を紹介した。同時に、震災復旧のため休館中の日立市郷土博物館の復興と再開を支援した。さらに、茨城県近代美術館が所蔵する、南画家奥原晴湖や日本美術院の木村武山など同時代の花鳥画もあわせて展示し、近代における花鳥画の魅力を幅広く紹介した。

「五浦でバードウォッチング」というキャッチコピーのもと、会期中には、展示作品に登場する鳥たちや植物の名前や生態などについて、自然博物館職員の解説によるギャラリートークを行い、拡がりのある絵画鑑賞の楽しみ方を提供した。

また、日立市郷土博物館の学芸員による展示解説用(主要作品図版付)のリーフレットを作成し好評を得た。

●担当 野内 治(首席学芸主事)

●関連事業

自然博物館職員によるギャラリートーク

日時 2月11日(火)午後1時30分～2時30分

講師 服部仁一(ミュージアムパーク茨城県自然博物館教育課長)、石田容之(ミュージアムパーク茨城県自然博物館教育課主任学芸主事)

学芸員によるギャラリートーク

日時 1月18日(土)、2月16日(日)

各日とも午後1時30分～2時30分

担当 野内 治(首席学芸主事)

●関連記事

・近代花鳥画の魅力紹介 県出身者らの作品 五浦美術館 企画展 来月2日から(臼井真)

12月27日【毎日新聞】

・五島耕畝「長閑」(大森潤也)

12月27日【市民と博物館109(日立市郷土博物館)】

・五浦美術館で花鳥画展 県出身画家の作品など展示

1月5日【読売新聞】

・花鳥画、鮮やかに 県出身・日本画家ら作品 びょうぶや軸装を展示 天心記念五浦美術館

1月6日【朝日新聞】

・写実と装飾美 花鳥画の世界 画家「荒木寛畝」一門に光 県五浦美術館 本県出身 耕畝、春水ら一堂に(沢畑浩二)

1月27日【茨城新聞】

・「春」を感じる花鳥画の世界 荒木寛畝 一門にスポットをあてる

2月15日【茨城美術新聞】

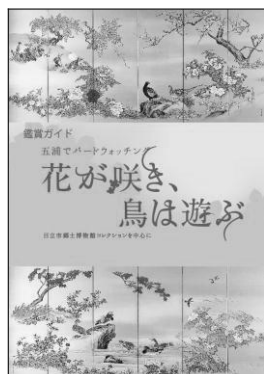
●関連放送

・「スカーピーレポート」

1月7日【茨城放送】

・「ハラペコキッズ」

1月26日【FMひたち】



リーフレット A4



ポスター B2



ポスター B3



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法 (cm)	所蔵先
1	荒木 寛敏	1831-1915	四季花鳥図	明治41年	紙本・彩色・屏風六曲一双	各 182.0×395.0	日立市郷土博物館
2	奥原 晴湖	1837-1913	芦雁図	明治13年	紙本・墨画淡彩・軸装	147.4×78.9	茨城県近代美術館
3	奥原 晴湖	1837-1913	富貴飛燕・芙蓉翡翠	明治28年	絹本・彩色・軸装 (対幅)	各 131.0×42.7	茨城県近代美術館
4	荒木 十敏	1872-1944	麗陽	大正11年	絹本・彩色・軸装	180.0×101.0	日立市郷土博物館
5	池上 秀敏	1874-1944	初冬	明治42~43年頃	絹本・墨画彩色 屏風六曲一双	各 154.0×321.0	日立市郷土博物館
6	広瀬 東敏	1875-1930	瑞鳥	大正15年	絹本・彩色・軸装	146.0×42.0	日立市郷土博物館
7	広瀬 東敏	1875-1930	老松遊禽図	大正期	絹本・墨画彩色 屏風二曲一双	各 175.0×179.0	日立市郷土博物館
8	木村 武山	1876-1942	小春	大正3年	絹本・彩色・屏風六曲一双	各 176.6×378.8	国立大学法人茨城大学
9	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵「夏草図」	大正7年頃	杉戸・彩色 (四面)	各 198.5×148.5	個人
10	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵「向日葵図」	大正7年頃	杉戸・彩色 (二面)	各 199.0×148.0	個人
11	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵「秋草図」	大正7年頃	杉戸・彩色 (二面)	各 199.0×148.0	個人
12	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵「白菊図」	大正7年頃	杉戸・彩色 (二面)	各 199.0×148.0	個人
13	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵「秋草図」	大正7年頃	杉戸・彩色 (二面)	各 199.0×148.0	個人
14	木村 武山	1876-1942	烏骨鶏	昭和8年	絹本・彩色・屏風二曲一隻	171.0×170.0	茨城県近代美術館
15	五島 耕敏	1882-1958	深山の秋	大正前期	紙本・彩色・屏風二曲一隻	187.0×200.0	日立市郷土博物館
16	五島 耕敏	1882-1958	孔雀	大正前期	絹本・彩色・軸装	144.0×51.0	日立市郷土博物館
17	五島 耕敏	1882-1958	長閑	大正15年	絹本・彩色・軸装	202.0×114.0	日立市郷土博物館
18	五島 耕敏	1882-1958	秋草鶉	大正末~昭和初期	絹本・彩色・軸装	42.9×80.4	日立市郷土博物館
19	五島 耕敏	1882-1958	松鷹	大正末~昭和初期	絹本・彩色・軸装	129.1×41.1	日立市郷土博物館
20	五島 耕敏	1882-1958	秋色双禽図	昭和初期	絹本・彩色・軸装	128.6×41.6	茨城県近代美術館
21	五島 耕敏	1882-1958	松鷹	昭和初期	絹本・彩色・軸装	140.4×51.3	日立市郷土博物館
22	五島 耕敏	1882-1958	睡蓮	昭和初期	絹本・彩色・軸装	123.0×40.0	日立市郷土博物館
23	五島 耕敏	1882-1958	月花鳥	昭和5~10年頃	絹本・彩色・軸装	117.0×42.1	日立市郷土博物館
24	五島 耕敏	1882-1958	晚秋小禽	昭和5~10年頃	絹本・彩色・軸装	128.0×34.5	日立市郷土博物館
25	五島 耕敏	1882-1958	軍鶏	昭和9年	絹本・彩色・軸装	186.0×139.6	日立市郷土博物館
26	五島 耕敏	1882-1958	罌粟	昭和12年頃	絹本・彩色・軸装	123.5×41.8	日立市郷土博物館
27	五島 耕敏	1882-1958	岩頭の鷹	昭和20年頃	絹本・彩色・額装	95.0×187.0	日立市郷土博物館
28	湯原 柳敏	1885-?	牡丹之図	大正8年	絹本・彩色・軸装	185.0×86.0	日立市郷土博物館
29	関 啓敏	1886-1934	皁月頃	大正14年	絹本・彩色・軸装	138.1×72.8	個人
30	関 啓敏	1886-1934	葛に鶉図	昭和2~9年頃	紙本・彩色・屏風六曲一隻	162.8×331.8	個人
31	関 啓敏	1886-1934	向日葵図	昭和2~9年頃	絹本・彩色・屏風六曲一隻	158.6×330.6	個人
32	堅山 南風	1887-1980	雨後	昭和13年	絹本・墨画彩色・額装	118.0×133.0	茨城県近代美術館
33	西澤 笛敏	1889-1965	木苺小禽図	大正末~昭和初期	絹本・彩色・軸装	126.0×42.0	日立市郷土博物館
34	西澤 笛敏	1889-1965	梨花小禽・鳳凰・柏小禽	大正末~昭和初期	絹本・彩色・軸装 (三幅対)	各 125.0×42.0	日立市郷土博物館

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(cm)	所蔵先
35	西澤 笛畝	1889-1965	高麗雉子	昭和10年	絹本・彩色・額装	162.0×178.0	日立市郷土博物館
36	永田 春水	1889-1970	紅梅鶯鳥図	大正7年	絹本・彩色・軸装	141.3×60.0	日立市郷土博物館
37	永田 春水	1889-1970	鬮家全慶	大正14年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各123.5×41.0	日立市郷土博物館
38	永田 春水	1889-1970	春暉曉艶	大正15年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各210.0×165.0	茨城県近代美術館
39	永田 春水	1889-1970	春光熙々	大正15年	絹本・彩色・額装	239.0×140.0	茨城県近代美術館
40	永田 春水	1889-1970	群鶉	大正末～昭和初期	絹本・彩色・軸装	127.4×42.5	日立市郷土博物館
41	永田 春水	1889-1970	初冬	大正末～昭和初期	絹本・彩色・軸装	130.2×32.0	日立市郷土博物館
42	永田 春水	1889-1970	百舌鳥の子	昭和10年	紙本・彩色・軸装	56.7×72.2	日立市郷土博物館
43	永田 春水	1889-1970	籬の秋	昭和11年	紙本・彩色・屏風六曲一双	各171.5×364.8	日立市郷土博物館
44	永田 春水	1889-1970	萬年孔雀図	昭和12年頃	絹本・彩色・屏風二曲一双	各171.0×172.0	茨城県近代美術館
45	速水 御舟	1894-1935	燕子花	大正12年	紙本・彩色・額装	31.0×51.0	茨城県近代美術館
46	速水 御舟	1894-1935	木蓮	大正15年	紙本・彩色・額装	31.0×63.5	茨城県近代美術館
47	速水 御舟	1894-1935	紅梅	昭和7年	紙本・彩色・額装	29.7×42.0	茨城県近代美術館
48	速水 御舟	1894-1935	白躑躅	昭和7年	紙本・彩色・額装	27.0×32.5	茨城県近代美術館
49	速水 御舟	1894-1935	木瓜	昭和7年	紙本・彩色・額装	32.0×62.0	茨城県近代美術館
50	速水 御舟	1894-1935	鴨・鴛鴦	昭和7年	紙本・彩色・額装	29.8×21.2	茨城県近代美術館
51	速水 御舟	1894-1935	鶴(2羽)	昭和7年	紙本・彩色・額装	29.7×21.0	茨城県近代美術館
52	速水 御舟	1894-1935	鶴(丹頂鶴)	昭和7年	紙本・彩色・額装	29.8×21.0	茨城県近代美術館
53	速水 御舟	1894-1935	鴨	昭和7年	紙本・彩色・額装	29.5×63.0	茨城県近代美術館
54	速水 御舟	1894-1935	紅梅	昭和8年	紙本・彩色・額装	22.7×18.0	茨城県近代美術館
55	速水 御舟	1894-1935	淡紅梅	昭和8年	紙本・彩色・額装	22.6×35.5	茨城県近代美術館
56	速水 御舟	1894-1935	椿	昭和8年	紙本・彩色・額装	29.6×21.0	茨城県近代美術館
57	速水 御舟	1894-1935	桔梗	昭和8年	紙本・彩色・額装	36.2×22.8	茨城県近代美術館
58	速水 御舟	1894-1935	巢ごもり鶴	昭和8年	紙本・彩色・額装	29.8×21.2	茨城県近代美術館
59	速水 御舟	1894-1935	朝顔	昭和9年	紙本・彩色・額装	33.0×66.0	茨城県近代美術館
60	速水 御舟	1894-1935	桜	昭和9年	紙本・彩色・額装	29.5×30.0	茨城県近代美術館
61	速水 御舟	1894-1935	黄蜀葵	昭和9年	紙本・彩色・額装	42.0×30.0	茨城県近代美術館
62	速水 御舟	1894-1935	百舌	昭和9年	紙本・彩色・額装	22.8×36.5	茨城県近代美術館
63	長山 はく	1893-1995	罌粟	大正14年	絹本・彩色・屏風二曲一隻	169.0×169.4	茨城県近代美術館
64	児玉 希望	1898-1971	林檎花	大正15年	絹本・彩色・屏風二曲一隻	197.0×210.0	茨城県近代美術館
65	森 白甫	1898-1980	春秋孔雀図	大正後期～昭和初期	紙本・彩色・屏風六曲一双	各172.0×342.0	日立市郷土博物館
66	亀割 隆志	1901-1981	夏野の鹿	昭和9年	紙本・彩色・額装	202.0×180.3	日立市郷土博物館
67	榎村 白圭	1905-1973	鹿	昭和5年頃	絹本・彩色・屏風二曲一双	各164.0×174.0	日立市郷土博物館
68	榎村 白圭	1905-1973	萩	昭和10年頃	紙本・彩色・屏風六曲一隻	168.0×363.0	日立市郷土博物館
69	榎村 白圭	1905-1973	鶉	昭和40年頃	紙本・彩色・屏風二曲一隻	161.8×214.0	日立市郷土博物館

生誕 100 年

佐藤太清展

- **会期** 平成26年3月1日（土）～4月13日（日）
- **主催等** 主催：生誕100年佐藤太清展実行委員会、茨城県天心記念五浦美術館、NHK水戸放送局、NHKプロモーション
後援：文化庁、公益財団法人日展、北茨城市、読売新聞社、茨城新聞社、朝日新聞水戸総局、毎日新聞水戸支局、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局
- **ポスター** B2, B3
- **チラシ** A4
- **図録** 240×185mm 205頁
企画・監修 生誕100年佐藤太清展実行委員会
- **開催日数** 37日間(25年度は11日間)
- **入場者数** 13,208人 (25年度9,356人/26年度3,852人)
- **観覧料** 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※（ ）内は20名以上の団体料金
- **出品点数** 日本画66点 スケッチ、素描、書簡等資料
- **内容解説**

自然がみせる美の瞬間を詩情あふれる解釈で絵画に映し、その心象を永遠のものにした佐藤太清(1913 - 2004)は、京都府福知山市に生まれた。出生直後に両親を亡くするという境遇に遭うが、故郷の自然に触れ、その情景を描く体験に目覚め、絵の道を志す。18歳で上京し、児玉希望の内弟子として日本画の修業を始め、10年にわたる研鑽後、新文展に「かすみ網」で初入選。その後、嵐や炎などの自然現象を崇高の視点で描き、昭和55年(1980)から開始した連作《旅シリーズ》では、自然が持つ美しさに精神性を与え、花鳥風景画という新分野を確立。平成4年(1992)に文化勲章を受章、戦後の日本画壇を代表する作家として活躍した。また、太清は戦中・戦後、妻の実家のある東海村にしばしば身を寄せ、これを機に晩年まで茨城を訪れるようになり、県内に取材した作品やスケッチを多く残している。

生誕100年を記念して開催した本展では、代表作を含む

日展出品作を中心とする日本画66点を、3章及び小品コーナーの構成とし、画家のこぼれや作品解説とともに紹介した。また、「佐藤太清と茨城」コーナーを設け、本県で描かれたスケッチや写真などにより、太清と茨城とのかかわりを紹介した。

会期中は、講演会、コンサート、ギャラリートーク等多彩な関連イベントを設けたが、毎回参加人数が多く、好評であった。

● **担当** 三代博紀(首席学芸主事)

● **関連事業**

記念講演会「佐藤太清の世界—輝ける生命へのまなざし」

日時 3月22日(土) 午後2時～3時30分

講師 安田晴美(美術史家、福知山市佐藤太清記念美術館顧問、佐藤太清孫)

記念コンサート

佐藤太清の絵画と佐藤雅子の詩による「こもりうたのように」より

日時 3月23日(日) 午後2時～3時20分

出演 中澤敏子・落合真希子(指揮)、田中直子・豊田博子(ピアノ)、照沼美弦(チェロ)、中澤敦子(朗読)、安田晴美(お話)、野ばら会、水戸うらら女声合唱団、みと葵女声合唱団、アンサンブル童、五軒童謡を歌う会、土浦童謡を歌う会、レイクエコー童謡を歌う会、芸文声楽同好会

スペシャル・ギャラリートーク

日時 3月1日(土) 午前10時～10時30分

3月23日(日) 午後3時30分～4時30分

4月6日(日)、4月12日(土)、4月13日(日)

各日とも午後1時30分～2時30分

講師 安田晴美

学芸員によるギャラリートーク

日時 3月8日(土)、4月5日(土)

各日とも午後1時30分～2時30分

担当 三代博紀(首席学芸主事)



図録



ポスター B2



ポスター B3



チラシ A4

●関連記事

- ・佐藤太清 画業一堂に 県五浦美術館 生誕100年で回顧展(三次豪)
3月2日【茨城新聞】
- ・「佐藤太清」回顧展 北茨城・県天心記念五浦美術館 画業と芸術を紹介(臼井真)
3月4日【毎日新聞】
- ・佐藤太清 生誕100年展 日本初公開の作品も
3月4日【読売新聞】
- ・佐藤太清 70年の画業 北茨城 県内題材の作品も
3月4日【朝日新聞】
- ・生誕100年佐藤太清展 ㊦
囚われの鳥 生死が交錯(三代博紀)
3月15日【読売新聞】

- ・生誕100年佐藤太清展 ㊦
伝わる 激しい自然の気(三代博紀)
3月16日【読売新聞】
- ・生誕100年佐藤太清展 ㊦
触感まで描く「雪の名手」(三代博紀)
3月17日【読売新聞】
- ・自然と生命のきらめき 本件初公開作品含む66点(三次豪)
3月17日【茨城新聞】
- 関連放送
・スクーパーレポート
3月15日【茨城放送】

● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	初出展覧会	所蔵先	展示期間
I 模索の時代						
1	暁陽飛雪	昭和 16 年(1941)	272×197	児玉希望塾第 5 回展	福知山市佐藤太清記念美術館	
2	漁村	昭和 17 年(1942)	各 134× 179(2 面)	児玉希望塾第 6 回展	福知山市佐藤太清記念美術館	
3	かすみ網	昭和 18 年(1943)	194×112	第 6 回新文展	板橋区立美術館	
4	迎春	昭和 20 年(1945)	169×93	第 1 回現代美術展覧会	福知山市佐藤太清記念美術館	
5	篋	昭和 21 年(1946)	227×191	第 2 回日展	福知山市惇明小学校	3/25~4/13
6	早春	昭和 21 年(1946)	174×114	第 2 回現代美術展覧会	福知山市佐藤太清記念美術館	
7	山吹	昭和 21 年(1946)	177×120	第 1 回晨泉社展	福知山市佐藤太清記念美術館	
8	清韻	昭和 22 年(1947)	227×170	第 3 回日展	山種美術館	3/1~3/23
9	幽韻	昭和 23 年(1948)	161×227	第 4 回日展		
10	竹林	昭和 24 年(1949)	227×171	第 5 回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
11	玄冬	昭和 25 年(1950)	183×129	第 1 回日月社展	福知山市佐藤太清記念美術館	
12	竹窗細雨	昭和 26 年(1951)	227×170	第 7 回日展	埼玉県立近代美術館	
13	朝顔	昭和 26 年(1951)	177×124	第 4 回美術協会展	福知山市佐藤太清記念美術館	
14	罌粟	昭和 27 年(1952)	161×184	第 8 回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
15	睡蓮	昭和 27 年(1952)	166×194		福知山市佐藤太清記念美術館	
16	雨の日	昭和 27 年(1952)	154×209	第 3 回日月社展	福知山市佐藤太清記念美術館	
17	初秋	昭和 28 年(1953)	190×150	第 9 回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
18	阿修羅	昭和 28 年(1953)	181×100	第 4 回日月社展	福知山市佐藤太清記念美術館	
19	ダリア	昭和 29 年(1954)	136×182	第 10 回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
20	冬池	昭和 30 年(1955)	136×182	第 11 回日展	板橋区立美術館	
21	芝園所見	昭和 30 年(1955)	117×108	第 6 回日月社展	福知山市佐藤太清記念美術館	
22	樹	昭和 31 年(1956)	152×182	第 12 回日展	佐久市立近代美術館	
23	風車	昭和 31 年(1956)	117×102	第 7 回日月展	福知山市佐藤太清記念美術館	
24	立葵	昭和 33 年(1958)	189×156	第 1 回新日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
25	寂	昭和 34 年(1959)	152×167	第 2 回新日展	東京都現代美術館	
26	石楠花	昭和 35 年(1960)	184×176	第 3 回新日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
27	冬日	昭和 37 年(1962)	132×212	第 5 回新日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
28	水芭蕉	昭和 38 年(1963)	197×152	第 6 回新日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
29	花	昭和 39 年(1964)	182×152	第 7 回新日展	福知山市佐藤太清記念美術館	

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	初出展覧会	所蔵先	展示期間
II 生命へのまなざし						
30	潮騒	昭和40年(1965)	212×167	第8回新日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
31	風騒	昭和41年(1966)	227×167	第9回新日展	日本芸術院	
32	燄	昭和42年(1967)	167×212	第10回新日展	那覇市民ギャラリー	
33	洪	昭和43年(1968)	167×227	第11回新日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
34	暎	昭和44年(1969)	197×161	第1回改組日展		
35	緑雨	昭和45年(1970)	152×212	第2回日展	東京国立近代美術館	
36	無	昭和46年(1971)	212×152	第3回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
37	夢殿	昭和47年(1972)	212×182	第4回日展		
38	清韻	昭和48年(1973)	155×203	第5回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
40	東大寺暮雪	昭和50年(1975)	221×167	第7回日展	広島県立美術館	
41	磨崖佛-弥勒	昭和51年(1976)	221×155	第8回日展	板橋区立美術館	
42	蓮	昭和52年(1977)	155×203	第9回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
43	朝霧	昭和53年(1978)	155×203	第10回日展	板橋区立美術館	
44	雨の天壇	昭和54年(1979)	212×173	第11回日展	日本芸術院	
III 旅シリーズ、そして永遠の瞬間へ						
45	旅の朝	昭和55年(1980)	203×155	第12回日展		
46	旅の夕暮	昭和56年(1981)	197×158	第13回日展	愛知県美術館	
47	草原の旅-マヤの遺跡を探ねて	昭和57年(1982)	139×208	第14回日展		
48	最果の旅	昭和58年(1983)	147×206	第15回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
49	旅愁	昭和61年(1986)	185×152	第18回日展	光ミュージアム	
50	旅立ち	昭和62年(1987)	188×163	第19回日展		
51	旅途	昭和63年(1988)	187×158	第20回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
52	旅雁	平成元年(1989)	192×162	第21回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
53	雨あがり	平成3年(1991)	153×183	第23回日展		
54	行雲帰鳥	平成4年(1992)	153×183	第24回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
55	佐田岬行	平成5年(1993)	155×198	第25回日展	福知山市佐藤太清記念美術館	
56	雪つばき	平成6年(1994)	184×154	第26回日展	日本芸術院	
参考出品(新発見作品)						
57	仮題-傷病兵	昭和10年代	181×179		福知山市佐藤太清記念美術館	
58	仮題-竹庭	昭和10年代	242×149		福知山市佐藤太清記念美術館	
IV 佐藤太清の庭から(花鳥画小品)						
60	白鷺	昭和43年(1968)	90×72			
61	パンジー	昭和52年(1977)	53.5×41.5	第12回日春展		
63	瓶花	昭和58年(1983)	65×91		北澤美術館	
64	薔薇	昭和55~59年頃	53×41		佐久市立近代美術館	
65	晨雪	昭和59年(1984)	53×73	個展 銀座松屋・大阪大丸	蘭島閣美術館	
66	富貴花	昭和60年(1985)	52.5×72			
71	双鶴	平成3年(1991)	64.3×52.2	第6回現美展		
73	瓶花-ダリア	平成5年(1993)	76×95	第28回日春展	福知山市佐藤太清記念美術館	
77	喜久	平成7年(1995)	44.5×52.3	特別展「日本の心に薫る桜と菊」(式年遷宮記念神宮美術館)	式年遷宮記念 神宮美術館	

※この他スケッチ、書簡等の資料も展示した。作品No.は図録掲載の作品No.と一致する。なお、No.39, 59, 62, 67~70, 72, 74~76, 78の作品は当会場では不出品。

2 所蔵品展

●概要

茨城県近代美術館所蔵作品から日本画を中心に、その都度テーマを設けて選び出し、展示室Aで所蔵品展として年3回展示を行った。

●主催 茨城県天心記念五浦美術館

●会期及び入場者数

会期	展覧会名	入場者数
6月14日(金)～8月4日(日)	天心と日本美術院の画家たち—サースビーコレクションを中心に	12,808
8月8日(木)～10月4日(金)	旅—異国の情景	17,581
11月29日(金)～12月23日(月・祝)	小林巢居人・恒岳展—故郷への想い	7,003
合計		37,392

●観覧料

一般180(140)円／高大生110(80)円／小中生80(50)円

※()内は20名以上の団体料金

※満70歳以上の方及び身体障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方は無料

※土曜日は高校生以下無料(冬休み・春休みの期間を除く)

●チラシ (各A4)



●リーフレット (A4)



●関連記事

- ・天心作品8点一堂に きょうから所蔵品展 北茨城・五浦美術館 生誕150年記念(臼井真) 6月13日【毎日新聞】
- ・天心と日本美術院の画家たち 6月14日【両毛新聞】
- ・天心の業績伝える36点 県天心記念五浦美術館 作品や資料紹介(沢畑浩二) 6月15日【茨城新聞】
- ・天心の絵画作品8点展示 天心、波山記念事業プレ企画 県天心記念五浦美術館で開催中 大観の英文書簡5点を初公開 6月16日【常陽新聞】
- ・県ゆかりの偉人で観光客誘致 天心、波山テーマイベント続々 6月18日【産経新聞】
- ・生誕150年没後100年岡倉天心の作品展 米滞在中の8点など展示 五浦美術館 本企画前に 大観の英文書簡5点も 国内初 6月24日【読売新聞】

- ・大観の英文の手紙 初公開 米国の支援者にあてた5点 北茨城 天心が描いた絵8点も(成田認) 6月27日【朝日新聞】
- ・海を越えた天心の偉業 「東洋の美」啓蒙 県五浦美術館「生誕150年・没後100年展」(沢畑浩二) 7月4日【茨城新聞】
- ・〈所蔵品展〉旅—異国の情景 茨城県天心記念五浦美術館 8月15日【茨城美術新聞】
- ・小林巢居人・恒岳展—故郷への想い 11月25日【両毛新聞】
- ・小林巢居人・恒岳展—故郷への想い 12月1日【新美術新聞】
- ・自然を愛し 故郷を愛し 小さな命見つめる父子 小林巢居人・恒岳展 県天心記念五浦美術館 (三次豪) 12月5日【茨城新聞】
- ・小林巢居人・恒岳展 23日まで 北茨城で 12月14日【両毛新聞】

●関連放送

- ・「ニュースワイド茨城」「茨城ニュース845」 7月11日【NHK水戸】

天心と日本美術院の画家たち—サースビーコレクションを中心に ※天心・波山記念事業プレ企画

平成 25 年 6 月 14 日（金）～8 月 4 日（日）

明治 37 年、アメリカに渡った岡倉天心に同伴した横山大観、菱田春草らはニューヨークを皮切りに各地で展覧会を開き好評を得た。それには天心の知己であった声楽家のエマ・サースビーとその妹アイナ・サースビーらの物心両面にわたる支援が大きく関わっており、姉妹の元には天心や大観らの絵画をはじめ、多くの貴重な資料が残された。

本展はサースビー姉妹の旧蔵品である天心や大観らのアメリカ滞在中の作品を中心に、県近代美術館所蔵の下村観山や木村武山ら天心の薫陶を受けた日本美術院の画家たちの代表作もあわせて展示し、近代日本画の発展に大きな足跡を残した天心の業績の一端を紹介した。

●担当 永宮勤士(学芸員)

●出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	岡倉 天心	1863-1913	海辺の松	明治 37 年	絹本・彩色・額装	49.4×87.9	寄託 (旧サースビーコレクション)
2	岡倉 天心		ロバと人物	明治 37 年	絹本・彩色・額装	49.0×86.3	寄託 (旧サースビーコレクション)
3	岡倉 天心		竹の図	明治 37 年	絹本・彩色・額装	91.6×24.0	寄託 (旧サースビーコレクション)
4	岡倉 天心		日の出(画賛)	明治 37 年	絹本・彩色・額装	63.3×46.7	寄託 (旧サースビーコレクション)
5	岡倉 天心		月(画賛)	明治 37 年	絹本・彩色・額装	48.5×35.8	寄託 (旧サースビーコレクション)
6	岡倉 天心		山水の図	明治 37 年	絹本・墨画彩色・額装	80.7×27.4	寄託 (旧サースビーコレクション)
7	岡倉 天心		玉蓮	不詳	紙本・墨画・額装	24.6×34.8	寄託 (旧サースビーコレクション)
8	岡倉 天心		海辺の松(下図)	明治 37 年	紙本・墨画彩色・額装	21.0×27.8	寄託 (旧サースビーコレクション)
9	横山 大観 菱田 春草	1868-1958 1874-1911	飛泉・秋溪	明治 35 年	絹本・彩色・軸装(対幅)	125.3×41.2 125.5×41.3	
10	横山 大観	1868-1958	松月雪景	明治 37 年～38 年	絹本・彩色・額装	87.5×50.0	寄託 (旧サースビーコレクション)
11	横山 大観		岩礁の鶺鴒	明治 37 年～38 年	絹本・彩色・額装	49.9×87.6	寄託 (旧サースビーコレクション)
12	横山 大観		雪影	明治 37 年～38 年	絹本・彩色・額装	77.1×53.8	寄託 (旧サースビーコレクション)
13	横山 大観		風雪に鷺	明治 37 年～38 年	絹本・墨画彩色・額装	87.1×49.8	寄託 (旧サースビーコレクション)
14	横山 大観		雪景の図	明治 37 年～38 年	絹本・彩色・額装	53.0×50.5	寄託 (旧サースビーコレクション)
15	横山 大観		春曙・秋夜	明治 38 年	絹本・彩色・卷子(二卷)	各 109.4×245.4	
16	西郷 孤月	1873-1912	怒涛・瀑布	明治 33 年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各 116.2×50.3	
17	下村 観山	1873-1930	大原之露	明治 33 年	絹本・彩色・軸装	248.0×171.0	

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
18	下村 観山		帰漁の図	明治37年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	寄託 (旧サースビーコレクション)
19	菱田 春草	1874-1911	帰漁	明治37年	絹本・墨画・額装	49.4×73.3	
20	菱田 春草		砧	明治38年頃	絹本・彩色・軸装	49.4×83.5	
21	菱田 春草		松籟(岡倉天心 五浦旧宅書斎 小模絵試作)	明治38年	紙本・墨画金泥・軸装	173.0×90.0	黒澤順三氏寄贈
22	木村 武山	1876-1942	阿房劫火	明治40年	絹本・彩色・軸装	141.0×240.8	
23	今村 紫紅	1880-1916	牧童	明治43年頃	紙本・墨画・軸装	148.0×46.0	
24	今村 紫紅		道成寺	明治43年頃	絹本・彩色・軸装	59.2×49.2	国立大学法人 茨城大学蔵
25	小林 古径	1883-1957	少女	大正13年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×42.0	
26	安田 靱彦	1884-1978	羅浮仙	昭和10年頃	絹本・彩色・軸装	129.5×50.8	
27	前田 青邨	1885-1977	鶉飼	昭和8年頃	紙本・彩色・額装	51.0×155.0	
28	小茂田 青樹	1891-1933	乙艦帰帆	大正4年	絹本・彩色・軸装	56.5×86.5	
29	速水 御舟	1894-1935	洛外六題 宇治 (習作)	大正6年	紙本・彩色・額装	42.0×100.0	

〈資料〉

「センチュリー・アソシエーション 日本美術院正員による絵画展」目録	明治37年	印刷 二折 4枚	17.9×22.4	寄託 (旧サースビーコレクション)
「日本美術院正員の絵画及び漆作品展」案内状	明治37年	印刷 二折 1枚	18.2×13.1	寄託 (旧サースビーコレクション)
横山大観書簡(ア・サースビー宛)1904年 8月17日付	明治37年	紙・インク 封筒1枚, 便箋四折 1枚(表・裏)	封筒:8.0×13.5 便箋:15.2×24.8	寄託 (旧サースビーコレクション)
横山大観書簡(ア・サースビー宛)1904年 8月29日付	明治37年	紙・インク 封筒1枚, 便箋2枚 四折1枚(表・裏) 二折1枚(表)	封筒:13.0×8.0 便箋:15.3×24.8 15.2×12.3	寄託 (旧サースビーコレクション)
横山大観書簡(ア・サースビー宛)1905年 5月6日付	明治38年	紙・インク 封筒1枚, 便箋四折 1枚(表・裏)	封筒:12.0×8.3 便箋:15.4×21.6	寄託 (旧サースビーコレクション)
横山大観書簡(ア・サースビー宛)1905年 6月4日付	明治38年	紙・インク 封筒1枚, 便箋六折 1枚(表・裏)	封筒:9.6×14.7 便箋:20.3×25.6	寄託 (旧サースビーコレクション)
横山大観書簡(ア・サースビー宛)1905年 7月6日付	明治38年	紙・インク 封筒1枚, 便箋四折 1枚(表・裏)	封筒:9.6×12.2 便箋:18.3×22.9	寄託 (旧サースビーコレクション)

旅—異国の情景 平成25年8月8日(木)～10月4日(金)

画家にとって旅は、自分の内面を見つめ直したり新たなモチーフを求めたりするうえで重要な役割を果たしている。特に近年の日本画は、取材地がアジアやヨーロッパ、中南米など世界各地に広がっており、そこで見た風景やそこに住む人々の暮らしに心を動かされ、その共感を作品に描いている。こうした旅の作品を見ることで、私たちは画家一人一人の想いを感じたり、その国の歴史や風土、人々の生活を想像したり、自分の記憶の中の情景に重ね合ったりしながら旅を追体験することができる。

本展覧会では、世界各地を描いた日本画 18 点を展示し、それぞれの画家の眼を通して描かれた様々な異国の情景の魅力を紹介した。

●担当 横山智絵(主任学芸主事)

●出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	平岩 長四郎	1902-1987	ペルーの市場	昭和53年	紙本・彩色・額装	183.0×151.0	
2	加倉井 和夫	1919-1995	ギリシヤ回想	昭和53年	紙本・彩色・額装	116.0×73.0	
3	福王寺 法林	1920-2012	白光のヒマラヤ	平成3年	紙本・彩色・額装	200.0×728.0	作者寄贈
4	川崎 春彦	1929-	ネス湖	昭和60年	紙本・彩色・額装	225.0×163.0	作者寄贈
5	福井 爽人	1937-	明	平成13年	紙本・彩色・額装	220.0×186.0	寄託
6	福井 爽人		星のオアシス	平成16年	紙本・彩色・額装	165.0×285.0	寄託
7	菊川 三織子	1944-	花影	平成7年	紙本・彩色・額装	210.0×168.0	
8	倉島 重友	1944-	川風	平成13年	紙本・彩色・額装	214.6×169.8	
9	梅原 幸雄	1950-	線香花火	平成5年	紙本・彩色・額装	215.0×169.8	寄託
10	高橋 天山	1953-	ザンスカール	平成5年	紙本・彩色・額装	216.0×170.0	寄託
11	高橋 天山		清夜	平成11年	紙本・彩色・額装	224.5×179.5	
12	西田 俊英	1953-	寂光	平成8年	紙本・彩色・額装	218.0×172.0	
13	小田野 尚之	1960-	来客	平成13年	紙本・彩色・額装	170.0×215.0	寄託
14	清水 由朗	1961-	望楼	平成20年	紙本・彩色・額装	171.0×364.0	寄託
15	井手 康人	1962-	奏園	平成18年	紙本・彩色・額装	221.0×175.5	
16	岡田 眞治	1963-	冬のベネチア	平成15年	紙本・彩色・額装	226.0×182.0	
17	岩永 てるみ	1968-	La vue d'Orsay	平成19年	紙本・彩色・額装	218.0×173.0	
18	並木 秀俊	1979-	閃爍	平成22年	紙本・彩色・額装	162.0×162.0	

小林巢居人・恒岳展—故郷への想い 平成25年11月29日(金)～12月23日(月・祝)

小林巢居人(1897～1978)とその子息、恒岳(1932～)は霞ヶ浦とそこに育まれる生命を、色彩豊かに描き続けた茨城県ゆかりの日本画家である。二人は新興美術院展に出品し、その中心的作家として活躍するほか、本県の美術振興にも大きな足跡を残している。

当館では平成21年度に小林巢居人の回顧展を開催したが、これを機に巢居人の作品をご遺族や展覧会協力者から、さらに恒岳氏からもご自身の作品を県近代美術館にご寄贈いただいた。

本展では、これら巢居人・恒岳父子の寄贈作品を中心に展示し、霞ヶ浦の自然を原風景とした二人の芸術に底流する故郷と自然への温かなまなざしを紹介した。

●担当 永宮勤士(学芸員)

●出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	初出展	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	小林巢居人	鮎	昭和24年頃		紙本・彩色・額装	84.9×57.6	篠目篤氏寄贈
2	小林巢居人	よだかの星	昭和26年	第1回新興美術院展	紙本・彩色・屏風二曲一双	各172.4×255.2	
3	小林巢居人	水辺画卷	昭和29年	第4回新興美術院展	絹本・彩色・額装	56.0×1750.0	
4	小林巢居人	溪氷	昭和32年	第7回新興美術院展	絹本・彩色・額装	148.3×117.5	
5	小林巢居人	水辺夏	昭和35年	第10回記念新興美術院展	絹本・彩色・額装	130.0×114.5	小林登氏寄贈
6	小林巢居人	づくの宿	昭和36年	第4回小林巢居人日本画展(日本橋三越)	絹本・彩色・額装	78.0×52.0	
7	小林巢居人	明るい夜	昭和38年	第6回小林巢居人日本画展(日本橋三越)	紙本・彩色・額装	116.7×90.8	小林登氏寄贈

No	作家名	作品名	制作年	初出展	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
8	小林巢居人	しぐれる日	昭和40年	第8回小林巢居人日本画展(日本橋三越)	紙本・彩色・額装	80.0×117.0	小林登氏寄贈
9	小林巢居人	水辺の若草	昭和43年	第18回新興美術院展	紙本・彩色・額装	121.2×151.6	小林登氏寄贈
10	小林巢居人	水辺の雨	昭和44年	第19回新興美術院展	紙本・彩色・額装	121.1×151.8	小林登氏寄贈
11	小林巢居人	氷とける	昭和46年	第21回新興美術院展	紙本・彩色・額装	151.5×106.0	小林恒吉氏寄贈
12	小林巢居人	きりはれる	昭和48年	第23回新興美術院展	紙本・彩色・額装	121.6×182.4	小林登氏寄贈
13	小林巢居人	春雪	昭和52年	秋季新興展	紙本・彩色・額装	72.5×99.5	小林登氏寄贈
14	小林恒岳	蓮池(雲流れる)	昭和50年	第25回新興美術院展	紙本・彩色・額装	180.0×210.0	作者寄贈
15	小林恒岳	霧流れる	昭和55年	第30回新興美術院展	紙本・彩色・額装(2面)	各180.0×360.0	作者寄贈
16	小林恒岳	翔	昭和56年	個展—あわらを描く(銀座・望月画廊)	紙本・彩色・額装	111.0×161.5	
17	小林恒岳	越寒	昭和58年	第7回山種美術館賞展	紙本・彩色・額装	162.1×130.3	作者寄贈
18	小林恒岳	凍	昭和61年	第36回新興美術院展	紙本・彩色・額装(2面)	各174.4×217.4	茨城県立石岡第一高等学校蔵

3 岡倉天心記念室

●概要 多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示を行った。

●会期及び出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第1回		平成25年4月27日(土)～6月23日(日)					
1	横山 大観	1868-1958	水國の夜	明治44年頃	絹本・彩色・軸装	157.0×86.0	
2	横山 大観	1868-1958	月明	昭和6年頃	絹本・彩色・軸装	136.6×41.7	
3	菱田 春草	1874-1911	春の漁	明治42年頃	絹本・淡彩・軸装	129.0×51.0	寄託
4	下村 観山	1873-1930	雨中鷺	明治41年頃	紙本・墨画彩色・軸装	70.0×121.3	
5	木村 武山	1876-1942	鷺図	大正3～4年頃	絹本・彩色・軸装	124.0×41.0	寄託
■第2回		6月25日(火)～8月25日(日)					
1	横山 大観	1868-1958	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	117.2×50.0	寄託
2	菱田 春草	1874-1911	菊慈童	明治34年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.8	
3	下村 観山	1873-1930	納涼図	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	84.0×50.0	
4	木村 武山	1876-1942	小楠公	明治36年頃	紙本・彩色・軸装	140.3×64.8	
5	木村 武山	1876-1942	日本武尊	明治39～40年	絹本・彩色・軸装	124.7×33.7	寄託
■第3回		8月27日(火)～10月24日(木)					
1	横山 大観	1868-1958	朝顔日記	明治33年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×50.0	
2	菱田 春草	1874-1911	猫に鳥	明治43年	紙本・彩色・屏風二曲一双	各162.0×162.0	
3	木村 武山	1876-1942	立葵	大正9～10年頃	絹本・彩色・軸装	133.6×49.7	秋葉幸子氏寄贈

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第4回		10月25日(金)～12月23日(月・祝)					
1	横山 大観	1868-1958	秋の夕	明治35年	絹本・彩色・軸装	122.0×50.8	No. 2と対幅
2	菱田 春草	1874-1911	春の朝	明治35年	絹本・彩色・軸装	121.7×50.5	No. 1と対幅
3	菱田春草	1874-1911	落葉	明治42年	絹本・彩色・屏風二曲 一双	各152.8× 151.8	財団法人茨城県 開発公社寄贈
4	木村 武山	1876-1942	黒猫	大正6年頃	絹本・彩色・軸装	127.2×41.5	大塚子之吉氏寄贈
■第5回		12月25日(水)～平成26年2月23日(日)					
1	横山 大観	1868-1958	海嘯	明治38年頃	絹本・彩色・軸装	117.0×50.0	
2	横山 大観	1868-1958	山に因む十題 霊峰四 趣・其一春	昭和15年	紙本・彩色・軸装	75.2×110.7	
3	菱田 春草	1874-1911	富士	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	40.9×65.2	関澤賢氏寄贈
4	下村 観山	1873-1930	日の出・雪梅	明治41年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各108.5×41.0	
■第6回		2月25日(火)～4月25日(金)					
1	横山 大観	1868-1958	葉桜	大正初期	絹本・彩色・軸装	117.0×42.0	
2	横山 大観	1868-1958	赤壁	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	123.5×48.2	
3	菱田 春草	1874-1911	林和靖	明治41年	絹本・彩色・軸装	116×50.3	
4	木村 武山	1876-1942	義家勿来関	明治40～41年 頃	絹本・彩色・軸装	120.3×50.7	寄託
5	木村 武山	1876-1942	不動明王(模写)	昭和10年頃	紙本・彩色・軸装	134.2×74.1	寄託

(2) 資料テーマ展示

天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

●**テーマ名** 岡倉天心邸書斎欄間絵

●**会 期** 平成25年1月2日(水)～平成26年6月13日(金)

●**内容解説** 岡倉天心邸は、現在、茨城大学五浦美術文化研究所内に残されているが、その遺構は天心が晩年の五浦で過ごした明治末から大正初めの頃に比べると、その後の改築や部分的な取り壊しによって小規模となっている。

当館の記念室に復元されている天心の書斎と基子夫人の居室には、当時、それぞれ、横山大観と菱田春草の筆による襖絵や袋戸絵などがはめられていたといわれている。しかし、現在ではその大半が失われてしまい、わずかに茨城大学に天心の書斎の付け書院のものと思われる欄間絵が残されているのみである。

天心生誕150年、没後100年を迎えるにあたり、往時を偲ばせるこの貴重な遺品を紹介した。

●**展示資料** 伝横山大観「天心邸欄間絵」明治38～41年頃 国立大学法人茨城大学蔵

●**担 当** 中田智則(主任学芸員)